

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

文化芸術による児童生徒育成事業

事業の経過・背景・課題

今後の教育は、新学習指導要領にも掲げられているとおり「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」をバランスよく育む必要がある。

取組内容

交付実績額： － 千円 ※セット新規

(※) 本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により
教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

- ・劇作家の平田オリザ氏（兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長）によるワークショップ型の「演劇教育」を計画的・継続的に実施

〔演劇教育とは〕

- ・演劇的表現手法を用いたコミュニケーション教育ワークショップ等を実施
- ・ある題材の台本をもとに、グループの話し合いの中でアイデアを出し合い、配役や登場人物像、せりふといった細かいシチュエーションを設定し、物語を展開させていく授業
- ・授業を通して、子どもたちの豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力を養う

〔実施スケジュール〕

- 10月16日 山田小学校（1～4校時：6年生）
- 10月30日 加悦中学校（1～4校時：2年生）
- 11月30日 加悦小学校（1～4校時：6年生）
- 12月18日 三河内小学校（1～4校時：4・5年生）



事業の成果・今後の展望等

演劇を通して、異なる他者の視点に立って、様々な価値観や文化的背景を持つ人の心情を理解する力を身につけるとともに、自己表現力、創造性、やり遂げる力、協調性などといった非認知スキルの向上を図ることで、主体的・対話的で深い学びを実現した。

今後はより計画的な波及と効果的な実践を行うため、中学校では毎学期実施、2小学校では同じ児童生徒が複数回経験できるように取組を推進する。